

オーケストラの魅力に触れる
日本フィルセミナーコンサート開催

8月30日、『第20回日本フィルセミナーコンサート』（主催 津別町民芸術劇場 が中央公民館で行われました。日本フィルハーモニー交響楽団の団員が、全国から参加したアマチュア演奏家を指導する「つべつ日本フィルセミナー」の最終日に、団員とセミナー受講者で編成されたオーケストラが成果を披露する恒例のコンサートです。

第一部では、津別中学校吹奏楽部が共演してレスピーギ作曲の交響詩「ローマの松」などを演奏。第二部では、スメタナ作曲の交響詩「わが祖国」より『高い城』『モルダウ』などの曲目を演奏し、来場者はオーケストラの奏でる美しい音色に聴き入りました。



地域から学ぶ 津別農業の現状と未来
津別中学校の2年生が農業体験

津別中学校が取り組んでいる『総合的な学習の時間』の一環として、2年生が町内の農家で3日間の農業体験を行いました。

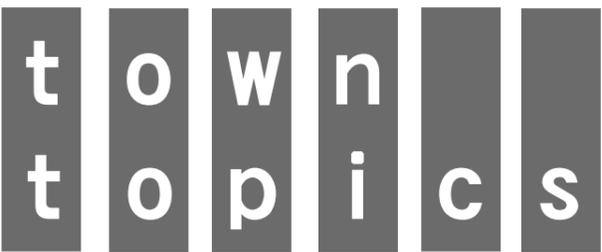
8月21日に行われた2日目の学習では、2年生が6か所の農家に分かれ、朝から畑の雑草抜きや収穫、酪農作業などを体験。活潑の澤田農園には5人の男子生徒が訪れ、農園の方に指導を受けながら畑の雑草抜きに励みました。

生徒たちは、額に汗して黙々と作業することで、働くことの大変さや達成感を実感するとともに、農業・酪農を通して命の尊さや自分たちの手で食べものを作る喜びを学びました。



ことで、働くことの大変さや達成感を実感するとともに、農業・酪農を通して命の尊さや自分たちの手で食べものを作る喜びを学びました。

まちのわだい



緊急時における輸送業務に関する協定
町と北見地区トラック協会が調印式

津別町と一般社団法人・北見地区トラック協会による「緊急時における輸送業務に関する協定」の締結に伴い、9月3日、林業研修会館で協定書の調印式が行われました。調印式には佐藤町長と北見地区トラック協会から福原裕二会長が出席し、協定書を取り交わしました。

災害時、または災害発生のおそれのある場合には、救援物資や生活機能回復のための物資の輸送が必要不可欠となりますが、町が所有する車両での対応は困難になる事態が予想されることから、優先的な輸送体制の確保を図るために協定を結んだものです。



水泳記録会と水上ゲームに熱戦
温水プールですいむまつり開催

子どもたちが水泳記録会や水上ゲームでプールに親しむ、『すいむまつり』（主催 津別水泳協会）が、9月5日、温水プールすいむで開催されました。

25メートルコースで行われた記録会では、声援が送られる中、参加者が自己記録の更新を目指して懸命に泳ぎました。

続いて行われたプールまつりでは、水上玉入れや浮島渡りなど、ゲームを楽しみました。特にプール中央に浮かべたマットの上に登る人数を競う浮島渡りでは、チームワーク良く、バランスに注意しながら取り組んでいました。



ゲームを楽しみました。特にプール中央に浮かべたマットの上に登る人数を競う浮島渡りでは、チームワーク良く、バランスに注意しながら取り組んでいました。

市民後見人養成研修修了式
受講者に修了証書を授与



9月14日、平成27年度津別町市民後見人養成研修の修了式が、林業研修会館で行われました。

式には講義や実習など、全8回、30時間を超える研修を終えた13人の受講者が出席。一人ひとりに佐藤町長から修了証書が授与され、最後に友澤太郎弁護士による講話「市民後見人への期待」を聴いて研修を締めくくりました。

修了者は、津別町安心サポート生活センターの市民後見人候補者名簿に登録され、家庭裁判所の選任により、認知症等で判断能力が不十分となり、親族がいない人の法律行為を行います。

秋の輸送繁忙期の交通安全運動

《実施期間》
10月15日(木)～10月24日(土)

運動の重点

- 過労・過積載・過密な運転の防止
- スピードの出し過ぎなど無謀運転の防止
- 高齢者の交通事故防止・夜光反射材の普及
- 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- 飲酒運転の根絶



オホーツク総合振興局
保健環境部

地域おこし協力隊隊員が津別町に来て学んだこと、感じたことをつづります。

23にじいろの朝

津別から阿寒国立公園へぬける国道沿いを囲む森はほとんど原生林です。自然を素材にする写真愛好者にとっては名所めぐりの方がたくさんいるでしょうが、地味でも自然に恵まれた美しい場所や情景は意外と多いです。紅葉の上にかかる虹はいかがですか？

私が津別に来てちょうど2年となります。ここで暮らしているといるんなら自然現象を目にします。阿寒岳の頂上に立ちのぼる雲、熊の目撃、キタキツネの夜鳴き、小動物との遭遇など、不思議なことに出会います。毎日のように国道を相生方面に走っていると、山や森の変化に気づけることがしばしばあります。

紅葉の見ごろを迎え、美しい情景になってきたこの季節の色とりどりの素晴らしい景色はほかにないでしょう。

津別相生地域の山はほとんど原生林です。赤色、紅色、褐色、薄黄色、黄緑、金色、とにかく色の種類が多くてこの言葉に尽くせない色付きは、細かい色は見分けることも難しく、時間、天気、角度によってさらに不思議いっばいなこの紅葉は特別級です。

朝日の時、時雨のせいなのか山上に虹がかかっていました。なかなか見られない現象です。いつだったか、2本の虹が重なりあうようにかかっていたのを見たこともありました。綺麗な色の虹、端から端までしっかりと見えるものこの広い大地だからこそ宝物に思えます。

ハスオーラ
相生物産館で豆腐作りを担当しています。これからも美味しい豆腐を作り続けますのでよろしくお願ひします。